

平成 27 年度 地域スポーツクラブマネジメントセミナー 第 4 回 実施報告 (12/12 実施)

「地域スポーツクラブの後継者育成」

講師：松田 雅彦 氏 (大阪教育大学附属高等学校平野校舎 教諭)

第 4 回のセミナーは、第 3 回に引き続き大阪教育大学附属高等学校の松田先生により、「地域スポーツクラブの後継者育成」をテーマに講義をしていただきました。今回は第 3 回目の内容を受け、人材活用の中でも「後継者育成」に焦点を当てて、お話をいただきました。

後継者育成は地域スポーツクラブの持続的な発展には不可欠な要件といっても過言ではありません。先生によると、後継者育成は意図的な仕掛けが非常に重要であり、いくつかのクラブでの事例を通して説明していただきました。事例の中の一つでもあり、先生ご自身が運営に携わっていらっしゃる NPO 法人しまもとバンブークラブでは運営スタッフに「やめる権利」を与え、一部の会員に過剰な負担を強いる組織、会員が運営に携わりやすい組織のために、「サービスをする人」と「サービスを受ける人」を分断しない「一人二役制度」を活用しているとのことをお話をされました。

また、本セミナーでは 2 つのワークを通して後継者育成に係る理解を深めました。まず、年間の事業計画から必要な経費を算出し、クラブを安定的に運営していくための会費シミュレーションを行いました。その際に、補助金をランニングコストに極力用いないことや、スタッフの研修や資格取得講習会といったクラブに有益となるスキルアップの機会に余剰金を積極的に充てることの重要性を説明されました。次に、運営スタッフのモチベーションを向上させるために、「やりがい」を感じるときと喪失するときを体系的に整理



する作業をグループワークで行いました。その後、グループ内だけでなくグループ間による情報交換を行い参加者による共有を図りました。先生からは、乗り越えるべき行動原理として「等価交換」と「思考停止」の 2 つが提示されました。「等価交換」とは損得勘定、つまり見返りを求めて行動することであり、「思考停止」とはパターン化されたりイメージに流されたりする行動であり、ボランティア組織であり刷新性が常に求められる組織である地域スポーツクラブにはそぐわないものであるという説明がなされました。

最後に、地域スポーツクラブの後継者育成を捉える視点として「生徒会」を挙げて説明がされました。生徒会は、運動部と文化部が内包されているだけでなく、学校行事の主催や決議を行うといった事業体である点で地域スポーツクラブと類似しています。また、中学校や高等学校のみといった単一の校種ではなく、幼稚園から高等学校、特別支援学校といった包括したシステムを作ることによって「引退」という概念がなくなり、一貫した後継者育成が可能となることを説明されました。このような、一貫したシステムを構築し、地域スポーツクラブから地域のリーダーとなる人材が創出されることによって、地域スポーツクラブがより一層地域社会のコミュニティ形成に寄与できると思われます。